

事業概要シート

施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	ごみ処理施設整備事業		現状維持	予算額	33,580 千円
事業期間	令和2年度 ～ 令和11年度			≪ ≫	59,077 千円
根拠法令 要綱等	循環型社会形成推進交付金交付要綱		財 源 内 訳	国庫支出金	8,966 千円
				県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	24,614 千円

【事業の目的・概要・対象】

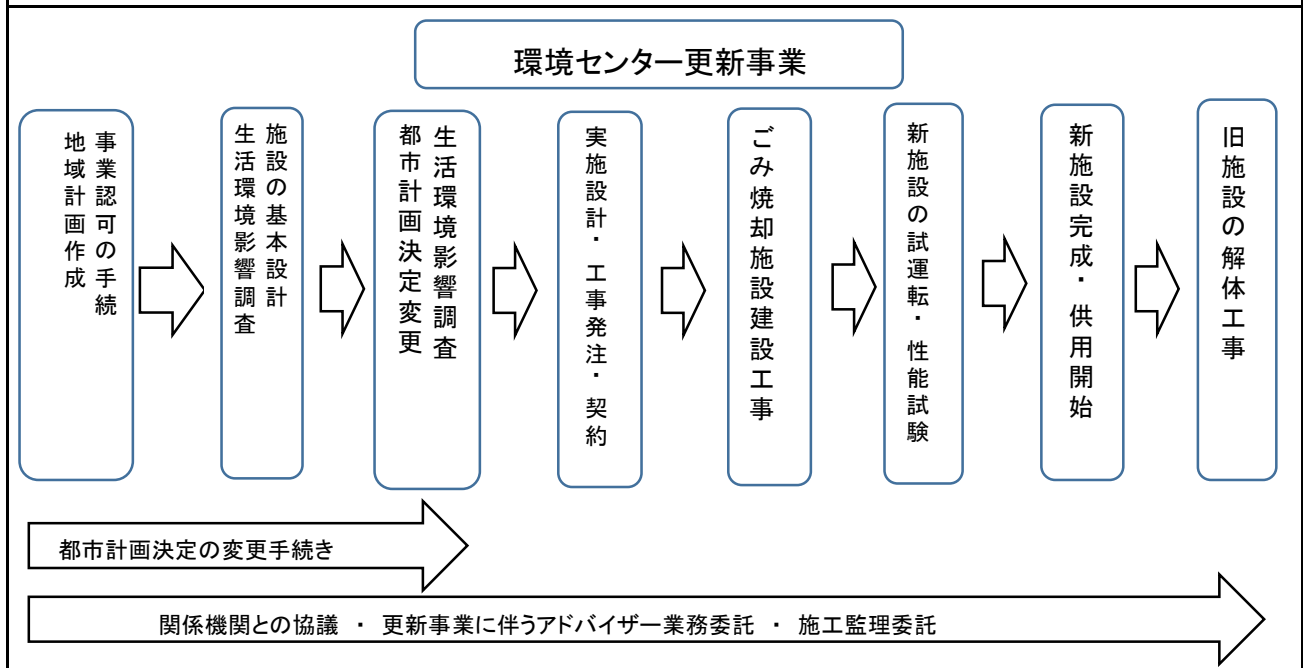
【目的】環境センター（ごみ焼却施設）の各設備が老朽化し、令和9年度に耐用年数である30年を迎える。今後も適正かつ安定的な廃棄物処理を行うため、新たな施設整備を行う。

【概要】施設整備は、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を総合的に推進でき、市町村の自主性と創意工夫を活かし、循環型社会の形成、及びエネルギー回収を含め、環境面、財政面を考慮し、最適な事業計画を推進する。

全体事業費 20,774,162千円

（ 交付金 6,200,000千円 ・ 起債 12,364,600千円 ・ 一般財源 2,325,323千円 ）

【対象】環境センター廃棄物処理施設



【背景】

一般廃棄物の処理責任は、自治体にあるため、施設の更新（建替）計画を策定し、適正かつ安定的に処理する必要がある。

担当課	市民環境部 環境センター	課長	所長 荒木 良也
担当者	田中 秀紀	問合せ先	0957-54-3100

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	施設更新に関する事業進捗率 (事業費ベース)	計画値	%	0.26	0.28	0.1	0.17	7.75
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①		計画値						
②		計画値						

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	53,518	58,555	59,077	33,580	36,000	1,610,000	1,850,730
国庫支出金	11,948	18,666	14,375	8,966	1,000	307,166	54,955
県支出金							0
地方債					26,500	1,064,800	26,500
その他							0
一般財源	41,570	39,889	44,702	24,614	8,500	238,034	159,275
人件費	14,059	14,415	14,415	14,415	14,415	23,539	71,717
職員(人)	2	2	2	2	1.80人	2.80人	9.00人
時間外勤務(h)	22	200	200	200	200h	201h	822h
会計年度任用職員(人)	1	1	1	1	0.50人	1.50人	2.50人
フルコスト	67,577	72,970	73,492	47,995	50,415	1,633,539	312,447

妥当性 (市の関与)	一般廃棄物の処理責任に関する計画、施設更新事業であるため、市が事業主体である。
有効性 (施策貢献度)	一般廃棄物を適正に処理することで、公衆衛生面の向上を図り、市民が安心、安全に生活していくための計画、施設整備である。
効率性 (コスト)	一般廃棄物を適切かつ安定的に処理するための施設であり、必要な費用である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり